



2011.1

民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

号外

二本松市版

衆議院議員

# 太田かずみ



## 社保二本松病院の存続を

二本松市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。地元選出の衆議院議員太田かずみです。今回は二本松市民の皆様にとって関心の高い二つの問題についてご報告させていただきます。

まず、社会保険二本松病院の存続問題です。地域の中核的な公的医療機関として救急医療や災害医療、小児医療などを重要な役割を担ってきた二本松病院ですが、自公政権時代に存続が危ぶまれる事態になりました。病院の売却・廃止を目的とした独立行政法人「整理機構」が病院を保有するという法案が成立したのです。このため、政権交代後、鳩山内閣は公約どおり、社会保険病院を公的病院として存続させる「地域医療推進機構法案」を提出しました。しかし、衆議院では可決されたものの、自民党が反対したことと、参議院で審議日程が不足したことにより、廃案となってしまいました。

ただ、整理機構は昨年9月末に解散となりそのままでは病院の運営が宙に浮いてしまうため、緊急避難的に整理機構の解散を2年間先送りする法案が参議院選挙の後に国会に出され、これは自民党も賛成して成立しました。しかし、整理機構は本来、採算の悪い公的病院を民間に売るための機構であり、それを延長したままでは継続的な地域医療は提供できませんし、住民の不安も残ってしまいます。

私は、今度の通常国会では何としても社会保険病院を公的に存続させるための法案を成立させなければならないと決意しています。細川律夫厚労相も、通常国会にはそのための法案を提出する意向と聞いています。地域住民の命を守るため二本松病院の公的存続へ全力で取り組んでまいります。

## JICA二本松訓練所は存続決定

第二にご報告したいのは、政府の進める独立行政法人見直しの過程で、昨年11月になって、国際協力機構（JICA）の二本松訓練所と長野県内の訓練所の統廃合案が急浮上したことです。事業仕分けの俎上にものぼりました。確かに、多くの独立行政法人は多額の税金が投入されているのに、十分な成果をあげていないものがあり、JICAについても、特に契約のあり方等国民目線で大胆に見直していかなければなりません。

しかし、訓練所の統廃合となると話は別です。統廃合となれば年間1600人のボランティアの派遣規模は縮小してしまいます。途上国へのボランティアは「草の根」外交官であり相手国の社会経済の発展に貢献し、友好親善を深めることで、日本の国益の拡大に大きな役割を果たしています。先進各国が競って派遣人数を急拡大しようとしている中、日本ばかりが後ろ向きであってはなりません。

また、統廃合は、手弁当で訓練所の活動を支援してきた二本松市民の国際貢献への熱意を踏みにじるものであり、私は与党議員として、二本松市長と連携しながら「統廃合には絶対反対。存続を」と関係省庁や関係議員に粘り強く働きかけました。その結果、統廃合自体は見送られることになりました。市長をはじめ、訓練所を支えてこられた市民の熱意が訓練所存続につながったものと思います。

今年も、地元・二本松市のため精一杯働かせていただく決意を新たにしています。